



2023年12月8日

各位

会社名 株式会社ソフトウェア・サービス  
代表者名 代表取締役会長 宮崎 勝  
(コード 3733 スタンダード市場)  
問合せ先 取締役経営管理部長 伊藤 純一郎  
(TEL. 06-6350-7222)

(訂正・数値データ訂正)「2023年10月期 決算短信[日本基準](連結)」の一部訂正について

当社は、2023年12月8日付けで公表しました「2023年10月期 決算短信[日本基準](連結)」の一部を訂正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。また、訂正後の数値データも送信いたします。

#### 記

#### 1. 訂正理由及び内容

「2023年10月期 決算短信[日本基準](連結)」につきまして、サマリー情報及び添付資料の記載内容の一部に記載の誤りがあったため、提出済みの決算短信を訂正するものであります。

#### 2. 訂正箇所

訂正箇所については、下線を付して表示しております。

(サマリー情報)

#### 【訂正前】

定時株主総会開催予定日	<u>2023</u> 年1月26日
配当支払開始予定日	<u>2023</u> 年1月29日
有価証券報告書提出予定日	<u>2023</u> 年1月29日

#### 【訂正後】

定時株主総会開催予定日	<u>2024</u> 年1月26日
配当支払開始予定日	<u>2024</u> 年1月29日
有価証券報告書提出予定日	<u>2024</u> 年1月29日

(添付資料 3ページ)

#### 【訂正前】

#### (4) 今後の見通し

我が国においては、高齢化が進行しており、長期にわたる人口減少過程に入っております。こうした中で健康・医療・介護の情報を、ICT等を用い、利活用を推進していくことが、個人の健康増進、医療現場等における業務効率化の促進、より効率的・効果的な医療等各種サービスの発展につながると考えられます。

行政の主導とした医療政策も掲げられており、ICT等を活用した医療分野のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、新しい診療の在り方が模索されております。

これらの要因は、その中核となる医療情報システムの普及拡大をますます進めるものと考えられます。また、既に電子カルテシステムを導入している医療機関等へのリプレイス市場の拡大も見込まれ、今後も確固たる立場を確保するため注力してまいります。

こうした事業環境の下、引き続きお客様のシステム化のニーズをいち早くとらえ、満足を提供できるシステムの開発、既存ユーザーに対しても安心して使っていただける保守体制の強化、ユーザーコミュニケーションを通じての信頼関係の強化及び共存

共栄の関係を構築し、安定した医療サービス提供の支援をすることで社会に貢献してまいります。

次期の業績につきましては、上記の要因に加え、次期に向けて受注残高も高水準であり、また、保守サービス等のストック収益も着実に伸びていることから、売上高 36,408 百万円(前年同期比 19.6%増)、営業利益 7,189 百万円(同 32.2%増)、経常利益 7,254 百万円(同 31.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益 5,027 百万円(同 31.7%増)を見込んでおります。

#### 【訂正後】

##### (4) 今後の見通し

我が国においては、高齢化が進行しており、長期にわたる人口減少過程に入っております。こうした中で健康・医療・介護の情報を、ICT等を用い、利活用を推進していくことが、個人の健康増進、医療現場等における業務効率化の促進、より効率的・効果的な医療等各種サービスの発展につながると考えられます。

行政の主導とした医療政策も掲げられており、ICT 等を活用した医療分野のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、新しい診療の在り方が模索されております。

これらの要因は、その中核となる医療情報システムの普及拡大をますます進めるものと考えられます。また、既に電子カルテシステムを導入している医療機関等へのリプレイス市場の拡大も見込まれ、今後も確固たる立場を確保するため注力してまいります。

こうした事業環境の下、引き続きお客様のシステム化のニーズをいち早くとらえ、満足を提供できるシステムの開発、既存ユーザーに対しても安心して使っていただける保守体制の強化、ユーザーコミュニケーションを通じての信頼関係の強化及び共存共栄の関係を構築し、安定した医療サービス提供の支援をすることで社会に貢献してまいります。

次期の業績につきましては、上記の要因に加え、次期に向けて受注残高も高水準であり、また、保守サービス等のストック収益も着実に伸びていることから、売上高 36,408 百万円(前年同期比 8.0%増)、営業利益 7,189 百万円(同 10.3%増)、経常利益 7,254 百万円(同 10.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益 5,027 百万円(同 3.3%増)を見込んでおります。

以 上